

2021年8月2日

報道機関 各位

「北東アジアにおける核使用可能性とその評価」プロジェクトに関する 記者会見

長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）では、北東アジア非核兵器地帯と包括的安全保障アプローチの実現をめざした「ナガサキ・プロセス」を支援すべく「北東アジアの平和と安全保障に関する専門家パネル（PSNA）」を2016年度より開催してきました。昨年度は、その一環として被爆75年記念事業「長崎・核とパンデミック・シナリオプロセス」プロジェクトをノーチラス研究所（米）、アジア太平洋核軍縮・不拡散リーダーシップネットワーク（APLN）と共催で実施いたしました。

今年度も、引き続き、ノーチラス研究所、APLNとの国際共同プロジェクトとして、「北東アジアにおける核使用可能性とその評価」プロジェクトを立ち上げることになりました。北東アジア地域にて、どのような条件下なら核兵器が使われてしまうのか。万が一使われてしまったらどのような影響が出るのか。このような問いに答えることで、核抑止論のもつ潜在的リスクを明らかにし、二度と核兵器が使われないよう具体的施策への提言につなげることが大きな目的です。

この度、このプロジェクトの概要をご説明すべく、下記の記者会見を開催いたします。ご多忙中誠に恐れ入りますが、ご出席賜りますようよろしくお願い申し上げます。

記

■日時：2021年8月3日（火）11:00より（1時間程度）

■場所：長崎大学 RECNA 1階会議室

【新型コロナウイルス感染予防対策として、原則として各新聞社につき1名、各テレビ局につき3名までに入室制限させていただきます。何卒ご理解、ご協力をお願いいたします。】

■報告者： 吉田 文彦 RECNA センター長
鈴木 達治郎 RECNA 副センター長

■内容： ・「北東アジアの平和と安全保障に関する専門家パネル」（PSNA）について
・「北東アジアにおける核使用可能性とその評価」について
・質疑応答

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）事務室

TEL. 095-819-2164 / E-mail. recna_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp